

うおぬま水の回廊

「体験」へ

「やさしい水の郷・魚沼市」を見て、触れて、味わえる。思い出に残る、雪国魚沼の魅力を体験してみませんか。



収穫体験

魚沼の恵み豊かな土壌で育まれたブランド野菜や果物の収穫を体験してみませんか。自分の手で収穫した農作物の味は格別です。

【主な収穫時期】
・八色スイカ(7月中旬～8月上旬)
・ブルーベリー(7月～9月上旬)
・稲刈り(9月下旬～10月上旬)

郷土料理体験

魚沼で育まれた農作物や加工品を使用した、豪雪地域ならではの食文化を郷土料理を通じて学びます。地元のお母さんからは、おいしいご飯の炊き方等の秘訣を教えてくださいましょう！



工場見学

世界最大級の米糴工場「魚沼醸造」。工場見学では、糴甘酒などの発酵食品が作られる様子や雪の冷気を活用した倉庫「雪室」を見ることが出来ます。シアタールームでは「やさしい水の郷・魚沼市」の由縁や糴甘酒の製造工程について学びます。また、糴甘酒石鹸づくりも可能です。



うおぬま水の回廊

— 越後三山の伏流水 —



やさしい水の郷
魚沼市へ、ようこそ

「うおぬま水の回廊」の問い合わせ先

一般社団法人 魚沼市観光協会

新潟県魚沼市吉田 1144 TEL 025-792-7300

<https://www.iine-uonuma.jp/>



各空港からの所要時間(新幹線利用)

新潟空港	新潟駅	浦佐駅	約1時間10分
羽田空港	東京駅	浦佐駅	約2時間10分
成田空港	東京駅	浦佐駅	約3時間

うおぬま水の回廊「舞台」へ

やさしい水の郷は、世界有数の豪雪地

西を魚沼丘陵、東を越後三山(越後駒ヶ岳、中ノ岳、八海山)をはじめとする三国山脈に挟まれた魚沼の地。夏は高温多湿、冬は3mを超える積雪に見舞われることから、人が住む生活圏では世界有数の豪雪地帯とされます。山野に降り積もった雪はやがて大地にしみ込み、ミネラル豊富な雪解け水となり、肥沃な扇状地「やさしい水の郷・魚沼市」を育みます。

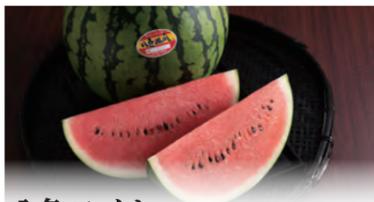
長い年月を経て湧き出る伏流水は、超がつくほどの軟水です。まったくクセを感じさせない良質な水は、農作物はもちろん、酒造りにも活かされています。また、素材のうま味を引き出すことができるため、料理が一層おいしく仕上がります。



うおぬま水の回廊「美味」へ

日本屈指の豪雪地、雪解けが生む清らかな水と土壌、盆地による昼夜の寒暖差。そうした魚沼ならではの恵まれた気候風土が、どこにも負けないおいしい特産品を生み出します。

魚沼産コシヒカリ 冬の間に降り積もった雪は、やがてミネラル豊富な雪解け水として魚沼の水田を潤します。冷たい雪解け水は夏の土壌温度の上昇を抑え、稲の成長を助ける重要な役割を果たし、日本一おいしい魚沼産コシヒカリを实らせませす。



八色スイカ

水はけの良い水無川の扇状地、そして盆地ならではの昼夜の寒暖差が育む八色スイカは、高い糖度とシャリシャリとした食感が特徴。品質にハズレがないところも人気の理由です。



大崎菜・八色菜

大崎菜は南魚沼市大崎地区で、八色菜は魚沼市八色地区で生産される豪雪地帯の新潟では冬の貴重な青菜です。年間を通して水温が一定の湧水を利用してながら栽培していました(※現在はハウス栽培)。



美雪ます

雨鱒と虹鱒を掛け合わせた「美雪ます」は、10年もの研究期間を経て誕生しました。魚沼の清らかな水で育てられ、鮮やかな紅色ともっちりとした食感、奥深いうま味の特徴です。



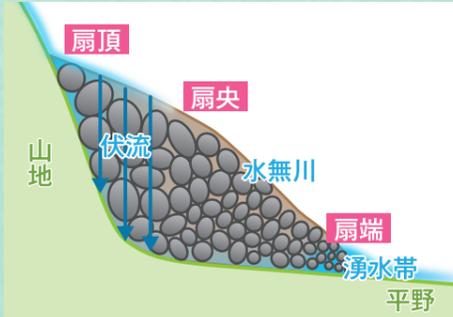
促成山菜

雪解けとともに芽を出す山菜を、知恵と工夫で真冬に収穫できるように栽培。豪雪地・魚沼でいち早く春を告げる山の恵みは、幸せを感じさせる味わいです。

うおぬま水の回廊 やさしい水の郷を巡る旅 越後三山の伏流水

図解! やさしい水の郷 「水無川扇状地断面図」

水無川扇状地では魚沼産コシヒカリをはじめ、八色スイカなどのブランド農産品の栽培が行われています。また「水の郷工業団地」は、良質で豊富な水を求めて食品関連の工場が立ち並ぶことから、「水の郷 雪のくにフードタウン」とも呼ばれています。



水無川扇状地断面図



扇頂

(画像出典: 新潟の道路探検屋 HP)



扇端

水無大橋より上流 (画像出典: 新潟の道路探検屋 HP)



越後三山

【越後駒ヶ岳】2003m 【中ノ岳】2085m 【八海山】1778m

越後三山は、日本百名山の一つ越後駒ヶ岳と中ノ岳、八海山の総称で、三山全域が越後三山只見国定公園に指定されています。

越後三山

中ノ岳 2085m
越後駒ヶ岳 2003m
八海山 1778m



水無川の良質で豊富な伏流水を求めて

水の郷 雪のくにフードタウン (水の郷工業団地)



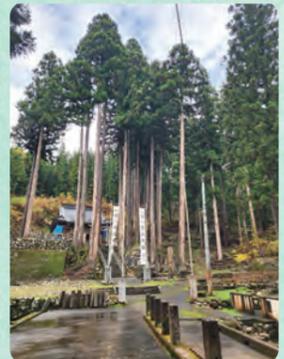
長い年月をかけ生まれた「超軟水」の伏流水は、魚沼市民の生活用水や農業・醸造用水だけでなく、良質で豊富な水を求めるさまざまな食品メーカーの工業用水として利用されています。



十二神社



大岩からの眺め



八海山坂本神社



大前神社 滝谷の清水



納得! やさしい水の郷 「数値で見る超軟水」

水道水の硬度は数値で表され、0～100 mg/L が軟水に分類されます。日本の水道水の平均硬度は 48.9 mg/L です。中でも、魚沼地域の平均硬度は 24.85 mg/L で、水の郷工業団地ではなんと 11～20 mg/L。この数値こそ「やさしい水の郷・魚沼市」を裏付けるものです。



魚野川

魚沼地方を南から北へと流れる川で、豊富な水量と上質な水質で魚沼の大地を潤します。